

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☐ 支 援 部 門				選挙-05 衆院選挙執行事務		ザイムスコード及び個別事業名	
							450	衆院選挙執行事務
主管課	選挙管理委員会事務局				関連課			
分野名	市民自治							
目標 (目標値)	衆議院議員選挙の執行							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	55,263千円	0千円	前回選挙は平成17 年9月11日執行				
	(国・県)	54,678千円	0千円					
	(負担金等)							
	(一般財源)	585千円	0千円					
	人員配置数	1.0人	0.0人					
	人 件 費	20,952千円	0千円					
	協 働 の パートナー	鎌倉市明るい選挙推進 協議会						
事務事業 運営経費	総事業費	76,215千円	0千円	平成21年8月17日 選挙人名簿登録者 数149,284人				
	市民1人当 りの経費	431円	0円					
	対象者1人 当りの経費	511円	0円					
ベンチマーク (県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 有権者の高齢化に伴う投票環境の向上、選挙事務の効率化						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 期日前投票所の増設(腰越行政センター)、仮設スロープ等の設置						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 投票区域の見直し、投票所となる施設に対する意見、要望があった。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 事務の効率化と併せ、投票区域の見直しなど投票環境の整備に早急に対応したい。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性		
A	有	的確な事務の執行と原則を守りつ つ、効率化を追求してゆきたい			A	有	選挙事務は各地域の特性に合わせ た対応が必要となる。高年齢化が進 む本市では、まず投票環境向上が 急務であると認識している。	
選挙管理委員会事務局次長 宮田好朗				部名・部長名		選挙管理委員会事務局長 宮田好朗		